

子ども樹木博士認定試験 実施報告書

- 1 開催日時 平成29年8月19日 9時30分～12時30分
- 2 開催場所 静岡県立美術館のまわりの森～県立中央図書館
- 3 応募参加者 応募者22名
(大人：11名 小学生：8名 幼稚園生：3名)
- 4 参加会員 青野 内野 越智 小嶋 杉山 中川 主担当：大石
- 5 実施状況

1) 計画

5月の総会で、静岡県立美術館の森で子ども樹木博士の認定試験を実施することが決まった。そこで他の行事日程と重ならないように、8月19日に実施することにした。使用を予定していた県立中央図書館会議室は、3か月前から予約が開始になるので5月に会場を予約した。また静岡市に後援の依頼をお願いし了承してもらい、合わせて8月の静岡市広報に記載してもらうことになった。また、6月に名古屋で開催された「全国子ども樹木博士認定活動交流会」で、当会の西部の会員が活動状況を発表したのも、これに参加し色々と勉強させてもらった。さらに8月3日には本会に先立ち、浜松地区で子ども樹木博士認定会が行われた。そこで、これにも参加して数々の実施要領を学ぶことが出来た。

試験は枝葉のサンプルを使って実施するが、樹木によっては枝葉以外の樹皮とか樹形に特徴のあるものもあり、これらについては写真も見てもらうこととした。

今回は4家族ほど幼稚園児を引き連れた家族の応募があった。この子たちのために別に樹種を10種に絞り、幼稚園児用の問題も作って認定試験に参加してもらうこととした。

2) 下見

7月1日に杉山、内野、大石の3名で、コース沿いの樹木から課題とするもの30種を選定した。また8月11日に青野、小嶋も合流して5名で現場での最終確認を実施した。

3) 応募状況

静岡市広報：3家族6名、大石のロコミ：3家族11名、
中川、小嶋のロコミ：2家族5名、シミズ毎日：なし、アットエス：なし

4) 実施の概況

□準備

試験用の枝葉のサンプルは観察を開始する前に集めておいた。

① 観察

3班に分かれて観察した。1班(8名)：内野と青野、2班(7名)：杉山と大石、3班(7名)：中川と小嶋で行った。9：30にスタートし11：15に試験会場に到着した。

② 試験

課題とした30種の枝葉のサンプルを順不同で配列し、机の上に展示した。今回は、更に樹皮等の写真も追加展示した。試験時間は30分間とした。

③ 試験結果と証書の授与

小学生と大人は設問30問のうち、子どもの平均点：24.6点 大人の平均点：23.6点だった。幼稚園児は設問10問のうち平均点：6.3点だった。青野理事長より全員に証書が授与された。

5) 実施所感

◆1班 内野会員

大人4人、小学生3人、幼稚園生1人の3家族グループでした。テストがすぐ後にあるということから同定ポイントを中心に説明をして、配布冊子にプラスして同定ポイントを撮った写真を使いました。小学校1年生、2年生のお子様は樹木博士に参加したいと意思表示してくれることは考えにくかったのですが、今日の小学生は違いました。しっかり説明を聞いてくれて真剣そのものでした。説明していてもピンピン返ってくるものがあり、力が入ってしまいました。大人も試験結果が良く、親子の会話が弾み、とても和やかないい一日だったと笑顔で話してくれました。

◆2班 杉山会員

大人4人、小3の子ども1人、幼稚園の幼児2人の班でした。どうしても幼児は、集中力が続かず、セミの抜け殻、尺取虫などに気を取られてしまいます。しかし小3の子供は、樹木に関心が高く、こちらが使うまいとした植物専門用語を知っていて、逆に葉柄や奇数羽状複葉などについて質問を受けたりしました。それなりにしっかりした説明を心掛けた次第です。常緑樹の葉の硬さの意味やサクラやアカメガシワの蜜腺の役割、サンゴジュの防火木としてよく使われる理由なども解説の中で説明を加えました。どの子どもどの人も楽しそうで、こちらも嬉しくなりました。植物に関心のある子供、大人が多いことを知り安心しました。大成功の「県立美術館の森子ども樹木博士認定会」でした。

◆3班 中川会員

大人3人、小学生4人のグループでした。出だしのキンモクセイでは、トイレの消臭剤のことを話し、大人からは納得の意見が出ました。

ヒイラギでは、節分の時に魔除けで、入口に差したことを伝えたついでに、豆まきはやるのと子どもに聞いたところ、やってないとの返事だった。今は昔の伝承の行事をやらない家が多くなったようです。子どもたちは、植物はあまり興味を示さずに、キノコばかりを見つけては、食べられるか、食べられないかと聞いてきました。

カツラでは子供も参加して、落葉を拾って揉んでもらい匂いを嗅いでもらいました。そして抹香の原料になると説明しました。

ヤマモモでは、この木に雄と雌があり、ちょうど並んで植わっている木と、落ちている木の種を目の前にして、街路樹や公園では、雄の木を植える旨説明しました。

クスノキでは、落葉を拾って匂いを嗅いでもらい、この木から樟脳を作ったり、薬品を作ると説明しました。子どもはセルロイドを知らないが、大人はセルロイドの原料になると話したら、盛んに感心していました。

テーダマツの松ぼっくりに刺があること、葉っぱが3本あること、日本にはもとは無く明治時代にアメリカから移入された旨、話しました。

メタセコイアは化石の木と呼ばれる由来を説明しました。

イヌマキでは、大人達は子供のころよく食べて懐かしいと盛んに話していました。後半になるとだらけてあまりこちらの説明を聞かない子が目立ちましたが、テストは意外や意外、かなり良い点を取っていたのにはびっくりしました。

当班では、大人でしたが満点を獲得した人がいました。

◆主担当 大石

静岡地区でのしばらくぶりの子ども樹木博士の開催であり、多くの会員の支援のもと、無事終わることが出来ました。

西部地区では当会会員が長年このイベントを続けており、運営に際しての身近なお手本となり大変助かりました。また静岡市の後援を頼んでいただいたり、かつ市の広報に紹介してもらったり、西部の会員には多くの便宜を図っていただきました。このことが応募者集めに、おおきく寄与したと思います。一方、試験に際して「枝葉以外に、樹皮や樹形、その他に特徴のある樹木については、それも示した方がよい」という意見が会員の間から出ました。そこで樹木の特徴部位の写真を撮って展示し、その写真も見てもらいながら解答してもらうことにしました。

また、応募者の中には幼稚園生を連れてきた家族も多くおり、字も十分に書けない幼児達への対応のしかたも議論になりました。この子達には問題数を10問に絞り、更に文字を書かない方式の解答用紙を用意して、試験に参加してもらえるようにしました。

市の広報を見て応募してくれた子などのうち何人かの子は大変レベルが高く、我々も驚きました。今後はこのような子ども達への要望に応ずるべく、30問に制限していた問題の量を増やすことも考えても良いのではないかと感じました。

とは言え、募集にはやはり大変苦勞しました。6月まで応募の資料を作り、7月から募集活動を開始しましたが、ほぼ1か月は応募ゼロでした。7月の末に市の広報を見た2家族からの応募がありました。その後口コミで募集した先からの応募もあって、やっと期日間際に目標の人数に達しました。

今後は市の広報の力を借りて、興味ある子供達に直接呼び掛ける他、先生もしくは子どもの指導者から呼びかけてもらうことも考えたらよいと思いました。

6) 試験結果

(大人と小学生、合計19名)の試験結果

| NO | 樹木名 | 正解数 | 正解率 |
|----|--------|-----|-----|
| 1 | キンモクセイ | 18 | 95 |
| 2 | ヒイラギ | 19 | 100 |
| 3 | サザンカ | 16 | 84 |
| 4 | イチョウ | 19 | 100 |
| 5 | ヒメシャラ | 16 | 84 |
| 6 | サクラ | 19 | 100 |
| 7 | カツラ | 17 | 89 |
| 8 | ヤマモモ | 15 | 79 |
| 9 | イロハモミジ | 18 | 95 |
| 10 | クスノキ | 11 | 58 |
| 11 | アオギリ | 12 | 63 |
| 12 | タブノキ | 9 | 47 |
| 13 | ケヤキ | 15 | 79 |
| 14 | シイノキ | 16 | 84 |
| 15 | トチノキ | 10 | 52 |

| NO | 樹木名 | 正解数 | 正解率 |
|----|--------|-----|-----|
| 16 | フジ | 18 | 95 |
| 17 | テーダマツ | 16 | 84 |
| 18 | メタセコイア | 17 | 89 |
| 19 | ツバキ | 14 | 74 |
| 20 | ヒノキ | 17 | 89 |
| 21 | クロガネモチ | 9 | 47 |
| 22 | カシワ | 18 | 95 |
| 23 | カキ | 18 | 95 |
| 24 | サカキ | 16 | 84 |
| 25 | イヌマキ | 18 | 95 |
| 26 | スギ | 14 | 74 |
| 27 | クロマツ | 15 | 79 |
| 28 | サンゴジュ | 16 | 84 |
| 29 | コナラ | 13 | 68 |
| 30 | アカメガシワ | 10 | 52 |

正解率100%は ヒイラギ イチョウ サクラ

50%未満は タブノキ クロガネモチ

取得段位人数

小学生 3段：2名 2段：4名 初段：1名

大人 3段：3名 2段：5名 初段：3名

(幼稚園生、3名)の試験結果

| NO | 樹木名 | 正解数 | 正解率 |
|----|------|-----|-----|
| 4 | イチョウ | 3 | 100 |
| 6 | サクラ | 2 | 67 |
| 7 | カツラ | 2 | 67 |
| 9 | モミジ | 1 | 33 |
| 14 | シイノキ | 1 | 33 |

| NO | 樹木名 | 正解数 | 正解率 |
|----|-----|-----|-----|
| 20 | ヒノキ | 2 | 67 |
| 22 | カシワ | 2 | 67 |
| 23 | カキ | 2 | 67 |
| 26 | スギ | 2 | 67 |
| 27 | マツ | 2 | 67 |

正解率100%は イチョウ

50%未満は モミジ シイノキ

取得段位人数

幼稚園生 1級：1名、 3級：1名、 10級：1名

観察・試験状況写真

第1班の説明
(サザンカの前で)



第2班の説明
(キンモクセイの前で)



第3班の説明
(おもしろいお話してる)



試験サンプル
(枝葉とポイント写真)



試験会場
(会場の壁際にサンプルを並べた)



試験状況
(答えわかった！！)



解答用紙提出
(答えあってるかな)



証書授与
(小学生 すばらしい出来です)



証書授与
(お母さん 大変よく出来ました)



証書授与
(幼稚園生 よくできました)



記録とりまとめ： 大石